

令和7年度 地域研究課題一覧

地域研究課題（地球誌系：房総の大地から探る地球の歴史、房総半島南部の大地の動きをさぐる、房総丘陵の地誌・地形・地質と生物と人のくらしの関連性）

系	整理番号	研究タイトル	代表者名	当館の分担者	研究内容
地球誌系	1	房総半島の軟体動物化石相	伊左治鎮司		房総半島から産出する軟体動物化石について、地域や地層ごとに、化石群集を構成する代表的な分類群を調査し、そのコレクションを充実させる。
地球誌系	2	房総半島の無脊椎動物化石相	加藤久佳		房総半島の第四系から産出する無脊椎動物、とくに十脚甲殻類化石資料を重点的に収集し、国内各地の既知のデータと比較検討する。
地球誌系	3	房総半島の脊椎動物化石相	丸山啓志		房総半島に分布する地層からナウマンゾウなどの陸棲哺乳類や、アワイルカなどの海棲哺乳類のような多種多様な脊椎動物化石が産出する。この化石記録から地質時代の房総半島における脊椎動物相の変遷を明らかにする。
地球誌系	4	房総周辺の花粉・環境誌	奥田昌明		2020年1月のチバニアン採択にともない、現地では更なる研究成果が期待されている。本研究課題では、市原市田淵の千葉セクションに対して花粉化石にかかる再分析を行い、申請段階では詰め切れなかった詳細なMIS 19の古気候復元を行った後、MIS 1の古気候状態と比較する。
地球誌系	5	房総半島の最終氷期以降の植生変遷	西内李佳		最終氷期（主に2～3万年前）から現在にかけての房総半島の植生変遷を、特に照葉樹林の拡大と針葉樹の衰退に着目して、花粉や葉、種実の化石から明らかにする。
地球誌系	6	房総の化石密集層の成因	千葉友樹		房総半島の地層に見られる化石密集層の成因を堆積物や化石群集に基づき明らかにする。また、当時の環境と生物の関わりを化石密集層から読み解く。
地球誌系	7	房総半島南部の晩新統～中新統の層序と構造の解明	菊川照英		房総半島南部に分布する晩新世から中新世の地層の層序や地質構造について、詳細な野外調査と微化石を用いた地質年代に基づき明らかにする。
地球誌系	8	房総半島の地形発達史と第四紀地殻変動に関する研究	山中 蛍		房総半島では、南部で急速な地震性隆起が生じる一方、北部の下総台地には緩慢な波状変形がみられ、第四紀地殻変動の様相は地域ごとに異なる。房総半島の地形発達史と、これに関わる地殻変動の様式を明らかにすることを目的とし、指標となる地形面群の分布、高度、形成環境、形成時期を調査する。

地域研究課題（生命誌系 1：房総の分類学的多様性の特徴とその保全）

生命誌系1	1	房総の甲殻類誌	駒井智幸		房総半島とその周辺海域に出現する甲殻類相の解明を進め、未記載種、国内未記録種（外来種を含む）の公表を随時進め、分類学的問題の解決を行う。
生命誌系1	2	房総丘陵の昆虫相	尾崎煙雄		希少種の探索を行い、房総丘陵に特有の昆虫を記録する。
生命誌系1	3	房総の土壤動物誌	萩野康則		房総に生息する多種多様な土壤動物について文献調査と採集を行い、詳細な文献リストと生息種リストを作成し、生息種の標本を収集する。
生命誌系1	4	房総の昆虫誌	樽 宗一郎	内海幸弘	本研究は、房総地域に生息する昆虫の戸籍簿の作成を目的とし、千葉県内の記録の網羅、さらに調査を実施して未記録種の発見に努める。
生命誌系1	5	房総の哺乳類誌	下稲葉さやか	宮川尚子	千葉県内に生息する哺乳類に関して、標本の収集と文献調査を行い、分布や生息状況を明らかにする。
生命誌系1	6	千葉県内の鳥類相とその季節性・経年変化に関する研究	小田谷嘉弥		千葉県内に分布する鳥類について、標本および観察情報の収集と文献調査を行い、分布状況を把握する。それに加え、渡来時期や個体数の経年変化を記録する。利根川流域で継続されてきた調査地における捕獲標識調査を行い、鳥類相の変化を観測する。
生命誌系1	7	房総丘陵の両生爬虫類相	西川あい	栗田隆気・尾崎煙雄	千葉県の中でも最も多くの両生爬虫類が生息する房総丘陵の両生爬虫類相を解明し、1 kmメッシュ単位の分布図を作成する。また、生態写真も撮影し、博物館活動に役立てる。
生命誌系1	8	房総の海産軟体動物誌	監物うい子		房総半島とその周辺海域に生息するウミウシ類についての文献調査とフィールド調査、標本採集を行い、生息種リストの作成、生息種組成の変遷等を明らかにする。
生命誌系1	9	両生爬虫類の外来種に関する研究	栗田隆気	西川あい	関東地方とその周辺地域を中心として爬虫両生類の外来種の侵入状況や起源を調査する。
生命誌系1	10	房総丘陵の維管束植物相	尾崎煙雄		希少種の探索を行い、千葉県の中でも特有の植物種を多く擁する房総丘陵の維管束植物相を解明する。
生命誌系1	11	千葉県産植物の細胞分類学的研究	山本伸子		これまでに千葉県産高等植物の染色体を網羅的に調べた例はなく、個別分類群でも観察された報告は少ない。千葉県における植物の細胞学的特性を明らかにするため、千葉県産高等植物の染色体を網羅的に解析する。
生命誌系1	12	房総の菌類誌	栃原行人		これまで房総半島の菌類相は大型菌類を主体として解明されてきたが、今後は微小菌類についても解明を目指す。特に、宿主植物およびその部位に強い特異性をもつツボウタケ目菌類を主な対象として、房総半島全域から標本採集を行って菌類相リストを作成するとともに、千葉県内の植生との相関等も考察する。
生命誌系1	13	房総の地衣類誌	坂田歩美	原田 浩	千葉県内に産する地衣類の目録を完成するために、野外調査を行うとともに既に収集した標本資料の同定、分類学的検討を行う。また県内における地衣類の分布を明らかにするために、県内各地で調査を行う。市民研究員・共同研究員と協力して実施する。

地域研究課題（生命誌系 2：房総の生態学的多様性の特徴とその保全）

生命誌系2	1	生態園の生態系変遷に関する研究	西内李佳	後藤亮・尾崎煙雄・西川あい・斎木健一・栗田隆気・樽宗一朗・梶原行人・御巫由紀・林紀男・山本伸子・小田谷嘉弥・小出康裕・玉井里奈・内海幸弘・水野大樹・坂田歩美	生態園の植物、動物、菌類、水生生物などの生物相を調査し、水質データ、気象データなどとともに長期的に記録を蓄積して、生態園における生態系管理や教育普及に役立てていく。さらに、これらを開園以来の既存のデータや在来の里山における資料とも比較して、都市近郊域における生態系の再生過程を明らかにする。なお、野鳥調査についてはボランティアの協力を得て実施する。
生命誌系2	2	房総のヒメコマツの保全生態学的研究	尾崎煙雄	西内李佳	近年急速に減少している房総丘陵のヒメコマツ個体群について、モニタリング調査を行い、その保全に向けた研究を行う。
生命誌系2	3	千葉県におけるナラ枯れ病に関する研究	尾崎煙雄		ブナ科樹木萎凋病（通称：ナラ枯れ）はナラ菌 <i>Raffaelea quercivora</i> が感染することによりブナ科樹木が枯死する樹病で、1980年代以降本州日本海側を中心に広葉樹林に大きな被害をもたらしている。我々の調査により2017年8月に千葉県内で初めてナラ枯れを発見した。この菌を媒介する甲虫の1種カシノナガキクイムシの生態を調べ、県内におけるナラ枯れの動向を予測する。
生命誌系2	4	侵略的外来水生植物の分布・生理・生態に関する研究	林 紀男		侵略的外来水生植物の繁茂状況の変遷追跡、および陸水環境における異常繁茂が水生生物に及ぼす生理・生態的な影響などについて検討する。
生命誌系2	5	千葉県内の淡水魚類相に関する研究	後藤 亮		千葉県内の淡水魚類相を環境DNAメタバーコーディング法を用いて調査する。これにより国内・国外外来種および希少種の分布を把握する。

地域研究課題（人類誌系：房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究）

人類誌系	1	房総丘陵における人の生活と自然のかかわりに関する研究	島立理子		房総丘陵に生活する人々が、地域の自然とどのようにかかわりながら生活してきたかを調査する。
人類誌系	2	文化財を活用した文化観光に関する研究～日本遺産北総四都市江戸紀行を事例として～	猪野義信		日本遺産に認定された地域を通して、文化観光や地域振興における課題等を考察する。
人類誌系	3	房総の万祝製作に関する研究	玉井里奈		千葉県内で現在も継承されている万祝製作技術や作業の担い手、製品について調査し、現代における万祝の位置づけについて考察する。
人類誌系	4	旧制千葉中学校を起点とするアーティストコロニーに関する研究	中松れい		旧制千葉中学校（現・県立千葉高等学校）とその卒業生、在野の画家、千葉大学医学部の絵画サークルなど、千葉市内においてかつて存在した、アーティストコロニーとでも呼ぶべき特色ある活動に注目し調査する。
人類誌系	5	近世の房総における寺社と門前町の研究	須田華那		近世の房総における寺社および門前町のあり方を、周辺の社会との関係に着目して考察する。
人類誌系	6	千葉県地域美術史に関する調査研究	幅 大		戦後の千葉県美術会設立以前の県内の地域美術について、団体等の活動記録等を中心に調査研究を行う。
人類誌系	7	中世の房総における信仰の広がりに関する研究	小出麻友美		中世社会において重要な役割を果たした宗教勢力が、房総半島でいかに教線を拡大し、信者を獲得していったのかを調査する。
人類誌系	8	中世の下総千葉氏に関する研究	園部華与		中世の下総千葉氏について、地域社会との関わりといった社会面を中心に、政治や文化などを多角的に考察する。
人類誌系	9	古代房総の特産品に関する研究	小川宏和		古代房総から朝廷に貢納された特産品の生産と消費の実態について調査研究を行う。
人類誌系	10	県内出土の緑釉陶器に関する研究	立和名明美		県内で出土した緑釉陶器は、調査報告時から数十年経ち、当時は知られていなかった生産地がその後次々と発見されている状況である。こうした資料に着目し、生産地や流通経路など新たな知見について検証する。
人類誌系	11	房総の古代仏教に関する研究	村田憲一		古代仏教の興隆期における、房総地方への仏教の伝播と浸透、さらにその後の仏教信仰の展開について調査・考察を行う。
人類誌系	12	房総の古墳時代に関する研究	黒田篤史		千葉県域の古墳時代遺跡から出土した土器などの遺物や遺構の在り方を分析し、他地域と比較検討することで、房総の古墳文化の特質を明らかにする。
人類誌系	13	房総における民間信仰の広がりとの継承に関する研究	奈良場春輝		民間信仰を支える人々の暮らし、信仰民具の形態や分布などに着目し、房総における民間信仰の広がりや次世代への継承について調査・考察を行う。
人類誌系	14	文字資料からみた奈良時代の房総	中川由莉		文献史料と出土文字資料から、奈良時代の房総の姿を再検討する。
人類誌系	15	千葉県域における盆綱の継承	武知邦博		東関東で見られる盆綱について、千葉県域での現在の状況と、地域文化継承の課題について調査研究する。
人類誌系	16	房総の戦争遺跡に関する研究	二葉俊弥		千葉県内の戦争遺跡について、特に近現代の施設・設備について着目し、その保存と活用について調査研究を行う。

地域研究課題 （博物館誌系： 博物館とその社会的役割に関する研究）

博物館誌系	1	中央博物館の収蔵資料の保存管理に関する研究	島立理子	友田曉子・武知邦博・小出麻友美・千葉友樹・中川由莉・水野大樹・内海弘幸・奈良陽樹・萩野康則・樽 宗一朗・御巫由紀	博物館の貴重な資料を劣化させない収蔵環境を維持するためには、総合的有害生物管理 (IPM)を行う必要がある。温湿度などの管理、燻蒸釜による燻蒸、トラップによる生物生息調査などを継続的に行い、異常を素早く見つけて対処 し、さらに中央博物館に適切な総合的有害生物管理を行うための調査研究を行う。
博物館誌系	2	旧千葉県葉草園生薬標本コレクションと千葉県における生薬・伝統薬に関する研究	御巫由紀	山本伸子・丸山啓志・須田華那・立和名明美	中央博物館で旧千葉県葉草園生薬標本コレクションを受け入れることをきっかけとしてコレクションの内容を詳細に調査し、併せて千葉県における生薬や伝統薬の生産・活用について、多面的なアプローチで研究を行う。